

1 通達の旨を横極の要友にとり伝え、
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25

2 徳業の一人徳業の徳業として、社長が此の旨を以て

3 けり、偏く僅金のこと。——第徳業の徳業として、

4 七口家に三月の徳業、社長宅訪問して、社長が在り、
5 何れに、聖徳の徳業、社長宅訪問して、社長が在り、

6 出来たこと、徳業の徳業として、

7 は、三月三日の徳業、徳業の徳業として、

8 徳業の徳業として、徳業の徳業として、

9 同日徳業の徳業として、徳業の徳業として、

10 要事事項の徳業として、徳業の徳業として、

徳業の徳業として、徳業の徳業として、